

# 第39回全国在日外国人教育研究集会・京都大会

## 開催要項

日本社会のあり様は、より多様化しています。それに伴い多文化共生社会を希求する声も増々高まってきました。そうした中、外国にルーツをもつ若者たち自身による課題解決に向けたとりくみや、コミュニティづくりに参加する姿が見られるようになってきました。しかし、未だ在日外国人に対する差別は解消されていません。

全外教は、在日コリアンへの差別撤廃や進路保障のとりくみを出発点に、すべての子どもたちの自立と連帯の場づくりを保障する運動や実践にとりくんできました。また、全国の在日外国人教育や多文化共生教育に関心のある教育関係者やNPO関係者等に呼びかけ、日頃のとりくみやさまざまな課題を共有する場として、全国在日外国人教育研究集会を開催してきました。

第39回全国在日外国人教育研究集会は、京都で開催いたします。多文化共生社会実現にむけ、各現場での実践を持ち寄り交流し、課題解決に向けた論議を深めたいと思います。分科会でのレポートは、社会や教育現場の具体的な課題やとりくみを学ぶ機会となります。さらに、子どもたち自身の交流も深めたいと思います。全国在日外国人生徒交流会に集う子どもたちは、自らの立場を明らかにし、交流を深める中で差別に抗う姿を見せてくれています。

2016年、いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」が施行されました。同法を受け、文部科学省は、「法を踏まえた適切な対応について」留意を促す通知を各都道府県教育委員会に出しています。しかし、教育現場において、子どもたちがヘイトスピーチの被害者となる事例や、加害者となる事例が数多く報告されています。友だちから差別された子どもが受けた傷はより深刻です。一方、加害者の側は差別煽動に騙されていることに気がつきません。目の前の実態を掘り起こし、子どもたちを被害者にも加害者にもしないとりくみを進めることが必要です。ぜひ京都大会にご参加いただき、つながりを深める機会にさせていただきますよう、お願いいたします。

**主催** 全国在日外国人教育研究協議会

**全国後援** 公益財団法人 朝鮮奨学会、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、日本教職員組合、部落解放同盟中央本部、移住者と連帯する全国ネットワーク、フォーラム平和・人権・環境、全国在日外国人教育研究所

**地元後援** 京都府教育委員会、京都市教育委員会、甲良町、甲良町教育委員会、部落解放長寺子どもを守り育てる会

◇**テーマ** 多文化共生社会実現のための教育を創造しよう

◇**日程** 2018年8月3日(金) 4日(土) 5日(日)

8月3日(金)	15:00					
	全国在日外国人生徒交流会(～4日)					
8月4日(土)	11:00		12:00	13:00	14:00	16:45
			司会者 報告者会議		受付	開会行事・全体会
8月5日(日)	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	
	受付	分科会		昼食	分科会	

◇**会場**

**全体会・分科会** 同志社大学新町キャンパス臨光館 (京都市営地下鉄今出川駅下車西へ500m)  
京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町159-1

**生徒交流会** 甲良町立甲良東小学校 (JR東海道本線河瀬駅よりバス「学校前」下車)  
滋賀県甲良町横関215

## ◇全体会

- 14:00 ～ 主催者あいさつ、基調報告  
14:25 ～ ジュネーブ派遣アピール・生徒交流会報告  
15:10 ～ 基調講演「反ヘイトスピーチ授業のとりくみ」  
講師 金昌浩さん（弁護士）

## ◇分科会

共通課題 ◎<多文化共生>と<本名（民族名）を呼び名のる>とりくみをすすめよう  
◎<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

### 1、異なる文化との出会い

- ①子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
- ②在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
- ③日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

報告 京都（市民）・兵庫（小）・大阪（小）

### 2、差別と排外に抗して

- ①排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
- ②名前の自己決定をめぐる状況はどんなになっているのか。
- ③反差別の教育実践をどのように展開したか。

報告 大阪（市民）・京都（中）・兵庫（市民団体）

### 3、未来をひらく

- ①進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。
- ②確かな歴史認識を培い、子どもたちの未来をどうつくるのか。
- ③在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。

報告 京都（大）・兵庫（高）・神奈川（高）・大分（小）

### 4、多文化共生をめざして

- ①多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
- ②新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。
- ③地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。

報告 奈良（中）・神奈川（市民団体）・東京（高）

## ◇参加費および参加申し込み

参加費 3,000 円

参加申し込み 当日生徒交流会受付または全体会場受付でお申し込みください。

## ◇全国在日外国人生徒交流会

※詳細は各地の生徒交流会担当者まで

## ◇書籍・資料の展示について

書籍・資料の展示を行いますのでご活用ください。大会事務局で認められた場所以外で行うことはできません。展示をご希望の方は大会本部にご連絡ください。

## ◇昼食

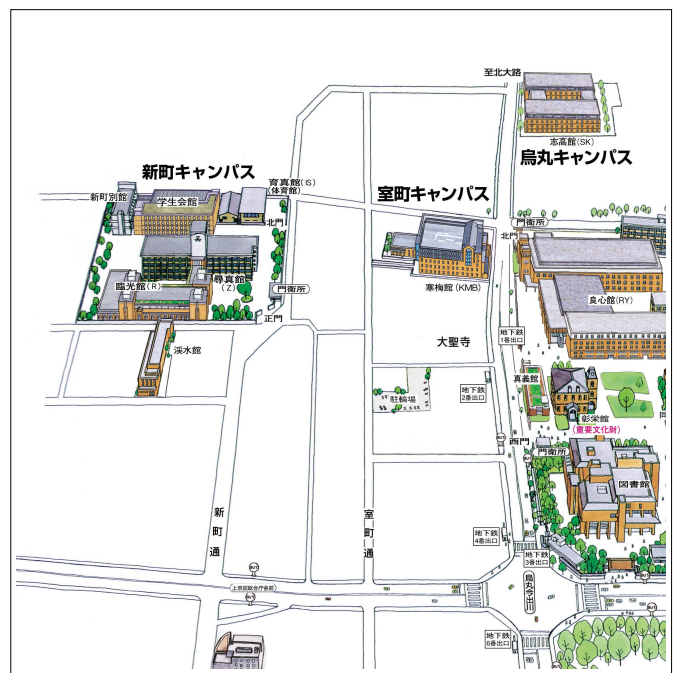
近くの飲食店やコンビニにて、各自おとりください。教室での飲食は可能です。

## ◇宿泊

宿泊の紹介は行いません。各自で予約をお願いします。宿泊の確保が困難になっています。できるだけお早めに宿泊の予約をされますよう、お願いいたします。

## ◇その他

- ◎関係者以外入場できません。
- ◎ビラ・広告や署名は、大会事務局の許可のないものは認められません。必要な方は大会事務局までご連絡ください。



## 第 39 回全国在日外国人教育研究集会・京都大会 現地実行委員会

〒 650-0003 奈良市大安寺 1-23-1 県人権センター・多文化共生フォーラム奈良内 全外教京都大会事務局

tel:080-4490-4164 e-mail:mail@zengaikyoo.org